



福山市P連だより

「21世紀を担う ころろ豊かな子どもを育てよう」
親も子も ともに成長! ともに進化!

vol.110

発行
福山市PTA連合会
(事務局:まなびの館ローズコム内)
TEL (084) 931-6210

発行責任者
道城 俊二

祝 福山市PTA連合会結成70周年

本年度、福山市PTA連合会は結成70周年を迎えました。そこで11月30日、70年にわたって市P連の活動を支えて下さった方々、そして今現在PTA活動を支えて下さっている皆様方に感謝の気持ちを伝えるために記念式典・祝賀会を執り行いました。これまでの市P連の歴史の積み重ねに思いを馳せ、先輩方の恩と意思を感じること。そして現在

の私達PTA会員にとって、これから未来を担っていく子どもたちをどのように育んでいくかを考える機会となれたならば誠に幸いです。当日ご出席してくださった来賓の皆様、ご参加いただきました歴代役員・会員の方々、何度も会議を重ね、当日も早くから運営に協力頂いたスタッフに対して心から御礼申し上げます。(詳細は4・5ページをご覧ください)

記念式典

【日時】

2019年(令和元年)

11月30日(土) 13時より

【場所】

広島県民文化センターふくやま

◆記念講演

【講師】坪田信貴氏



ベストセラー『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』著者

祝賀会

【日時】

2019年(令和元年)

11月30日(土) 17時30分より

【場所】

福山ニューキャッスルホテル

◆祝賀会トークショー

【ゲスト】達川光男氏



元広島東洋カープ選手
元広島東洋カープ1軍監督

福山市教育委員会との定例懇話会

令和2年2月7日福山市役所にて、福山市教育委員会と福山市PTA連合会の定例懇話会が開催されました。

開会にあたり冒頭、道城会長より「我々PTAも教育委員会も、すべては子どもたちのために」という考えや目指す方向は同じです。お互いが知恵を出し合い、より良い学校生活が送れるよう、活発な意見交換の場にしましょう。」と挨拶がありました。

また福山市教育委員会の田丸学校教育部長より「三好教育長の唱える教育の現場を実現していくために動くこと、子どもたちのために進めようとしている事は、教育委員会もPTAも同じです。ちょっとしたボタンの掛け違いから話が進まなくなったり、些細なことまで実現できなくなってしまう事もあります。子どもたちのためにしっかりとお互いの手を握り合い、中身の質を上げていきたいと考えています。」と挨拶があり、懇話会がスタートしました。

- ① 子どもの安心・安全確保について
- ② 教職員の資質向上と適正配置について
- ③ 教育環境の充実について
- ④ 福山市PTA連合会に対する補助金について

終わりに道城会長より、「学習指導要領の情報をPTAにも伝えていただき、情報を共有していきたい。今日の懇話会の内容を各単位PTA会長にも共有し教育委員会の想いを伝えていきたい。」とあり、田丸学校教育部長からは、「これからの施策にいかしていきたい。」との言葉をいただき、懇話会が閉会しました。

なお、この懇話会での教育委員会からの回答書については、各単位PTAに配布をする予定です。(詳細は6・7ページをご覧ください)

12/7

母親代表研修会

「トラブルを起こさない為に人がどう思うのか考えよう」



分科会のようなす

令和元年12月7日(土)広島県PTA連合会全小・中学校母親代表研修会がホテル広島ガーデンパレスで開催されました。

最初の全体会では「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩と「アウトメディアチャレンジ」ポスターの表彰式があり、福山市からも7名の受賞者が表彰されました。おめでとうございます。

講演会では「ネットトラブルから子どもたちを守るために」というテーマで、静岡大学教育学部准教授 塩田真吾氏がスライド教材を使つての講演をしてくださいました。ネットトラブル事例を紹介して怖さを伝えるのではなく、事例に対してどれが不安と思うか、嫌な気持ちになるかということ自身で考える教材で、実際に来場者の答えも様々でした。自分が良いと思うことや不快だと思ふことは必ずしも人と同じではないということがわかり、コミュニケーションや個人情報に関する問題を「自分のこと」として自覚することができ



福山市からの参加者

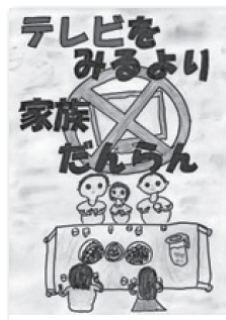
きました。また子どもたちがネットと上手につきあう為に、ルールを破りそうになる理由や守るための工夫を自分で考えさせる「自律」をめざしたルール作りが重要だということをお話いただきました。最近ではSNSに関するニュースも多く報道されており、今まさに必要な講演でした。無料通話アプリLINEと共同開発されたスライドで、見慣れたキャラクターも登場し、伝わりやすい教材で子どもと家庭で話し合うきっかけとなりました。

その後の分科会ではグループに分かれ、講演会の感想と各家庭での問題や対策などを話し合い、情報交換の場となり良い交流ができました。

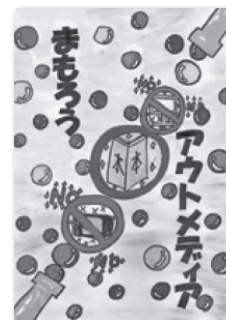
アウトメディアチャレンジポスター

*「アウトメディア」とは様々な電子機器(テレビ・DVD・ゲーム機・パソコン・携帯電話・スマホ等)に触れる時間を少なくし家族でふれあう時間をつくる取り組みのことです。

たくさんのご応募ありがとうございました。
広島県PTA連合会より選ばれた作品はチラシに印刷され各学校へ配布されました。



優秀賞
引野小学校6年
甲斐 永恋



優秀賞
引野小学校6年
為房 翼



優秀賞
城南中学校1年
矢野 紗也華

「楽しい子育て全国キャンペーン」
～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～三行詩
令和元年度「広島県PTA連合会賞」～福山からの受賞作品～

応募点数 小学生の部595点 中学生の部225点 一般の部42点 計862点の中から 各部5点の優秀賞が選ばれました。

小学生の部

パパひとりネコいっぴきのおうちでも
がんばれじぶんまけないぞ
空からみてねばくのママ。

福山市立鞆の浦学園 2年 濃野 行志

一般の部

「お母さん、だーいすき」
と言って 毎日ねむりにつく わが子
その笑顔を見れば 母さん充電100%
福山市鞆の浦学園 木之下 美樹

一般の部

頑張らないと腹がたち
頑張れすぎると心配になる
悩み楽しみながらあなた達を想う母心。
福山市鞆の浦学園 岡崎 美樹

一般の部

笑った顔 泣いた顔 怒った顔
全部愛しい我が子の顔
福山市鞆の浦学園 津田 智代



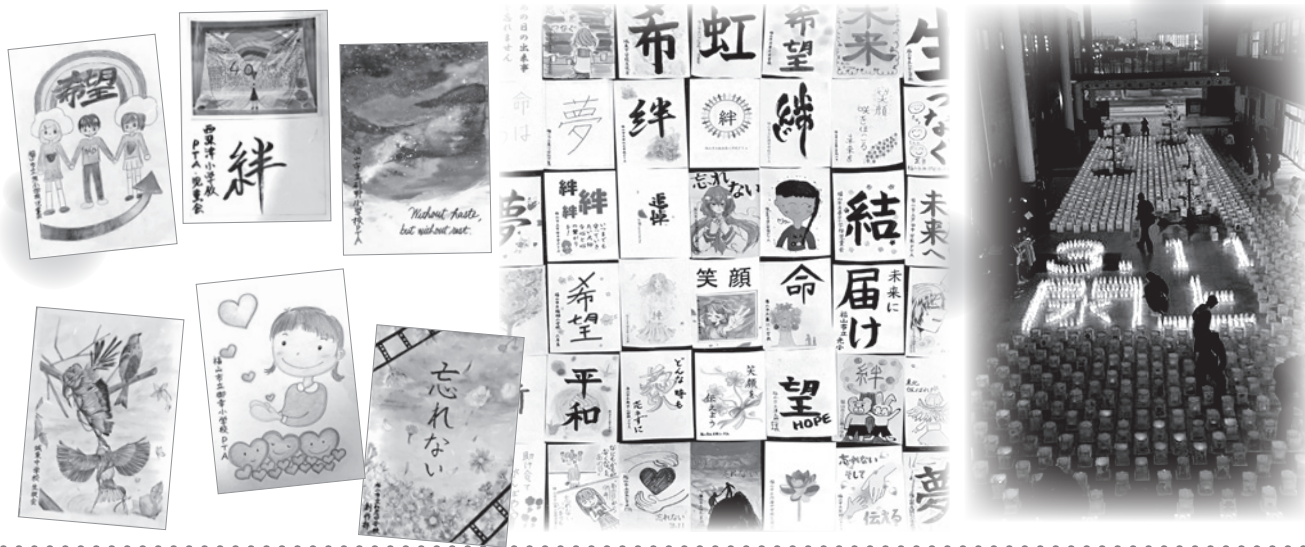
3.11なとり復興プロジェクト 関上追悼イベント2020

～被災地へ想いを馳せる～

「忘れないで！東日本大震災」

宮城県名取市関上（ゆりあげ）地区において東日本大震災の犠牲者慰霊の為、絵灯籠を飾るイベントが今年も開催されます。名取市PTA連合会とは、2011年に開催された日本PTA研究大会広島大会の準備にあたり多くのご協力をいただいたことから友好関係を深めてきました。この絵灯籠の絵を送るようになったのは、2012年2月に宮城県名取市PTA連合会の全小中学校の児童を励まそうと、市内から総勢約200名が集まり、4000個以上の折りばらを貼り付け仕上げた33枚のばらのメッセージボードを作成し、直接名取市に送り届けた事がきっかけとなっています。訪問時には、被害が大きかった関上地区などを案内していただき、津

波被害から得られた教訓は、「子どもたちの顔が見えるPTA活動を進めていく」ことがとても重要だというお話を伺いました。最後に「福山市PTA連合会が出来ることは何でしょうか」と問いかけたところ、支援は物の支援ではなく、「忘れないでほしい」「笑顔になれる支援が一番うれしい」という事でした。そこで福山市PTA連合会は「被災された名取市PTA連合会に集う仲間たちが、一日も早く穏やかな日々を取り戻せるよう、心から笑顔で元気に過ごせるよう、ずっと気持ちを繋げて応援・支援をしていきます」とその時から絵灯ろうの絵を送る活動を続けています。



第13回 いじめ防止標語コンテスト 開催

「いじめ」について考え、「いじめ」をなくすための標語を全国から募集。

「いじめ」のことを忘れ、明るく楽しい学校生活を送るための一言がたくさん寄せられました。

その中から全国賞が決定！おめでとうございます。後日、福山市教育長賞・市P連会長賞・市P連賞が発表されます。

全国賞

福山市・小学生の部 最優秀賞

「友だちは 相談できる おいしゃさん」

福山市立 瀬戸小学校 3年 たかはし はやと 高橋 駿斗

他 優秀賞2名 PTA推薦賞2名

福山市・中学生の部 最優秀賞

「いつ終わる？ 視線の雨は降り止まず
防ぐ傘さえ 手に入らない」

福山市立 東朋中学校 3年 わたなべ のぞみ 渡邊 望

他 優秀賞2名 PTA推薦賞2名



主催：いじめ防止標語コンテスト実行委員会

共催：福山市PTA連合会 他 全15PTA連合会(協議会)

後援：文部科学省・福山市教育委員会・福山市立小学校長会・福山市立中学校長会
他7県教育委員会・5市教育委員会・16県市小中学校校長会・他

PTA連合会

賀会が盛大に開催されました

年) 11月30日(土)

祝賀会: 福山ニューキャッスルホテル



記念式典

2019年11月30日(土)に福山市PTA連合会結成70周年記念式典が広島県民文化センターふくやまで行われました。

福山市PTA連合会道城俊二会長のあいさつを皮切りに執り行われました。またアトラクションでは福山市立城北中学校吹奏楽部に演奏して頂きました。「学園天国」「津軽海峡冬景色」「冬メドレー」など聞き馴染みのある曲で会場を盛り上げてくれました。

記念講演では著書通称「ベリギャル」で有名な坪田塾 塾長の坪田信貴先生のお話を聞きました。演題は「子どもの底力を圧倒的に引き出す5つのポイント」

①目標設定…「現実」という先入観を持たず、本人が理想的と思える目標を立てること。そのために子どもの性格と価値観を知る事。

②メンタル・メンタルはトレーニングしなければならぬ。そのために私たちに出来ることはリフレーミングを最低3か月以上続けること。例えばテストの点数が悪くても伸びしろがあるというようにポジティブに捉え直すこと。

③戦 略…彼を知り己を知れば百戦危うからず。子どもの事をよく知り、目標についてよく調べる。そうすることで無駄な努力を省くことが出来る。

④戦 術…抽象的な言葉やあいまいな指示でなく、具体的な解決策を示すこと。

⑤評 価…子どもの成果ではなく、成長を評価する事。



城北中学校吹奏楽部によるアトラクション



早川市議会議員あいさつ



道城市P連会長あいさつ



歴代会長・事務局長 表彰



表彰状授与

福山市PT

結成70周年記念式典・祝賀

2019年(令和元年)

於 式典: 広島県民文化センターふくやま

社会に出れば嫌でも成果や成功で評価されるようになります。だから家庭ではbeingただあなたがいるだけでいい、あなたの存在自体が嬉しいというメッセージを伝える事。そうすれば相互の信頼・尊重に繋がります、結果的に子供の成長に繋がっていくという事。90分の講演でしたが、考えさせられる事もあり、笑いありと最初から最後まで飽きる事なくお話を聞くことが出来ました。



祝賀会

肌寒くなってきた17時30分より70周年祝賀会が執り行われました。

まずは会長の開会挨拶から始まり、早川市議会議員、佐藤教育次長の来賓挨拶を頂き、高田第21代会長の乾杯で祝賀会が始まりました。

歓談時間では和気藹々の空気が穏やかに流れる中、達川光男氏の現役時代のVTRを鑑賞した後、ご登場され、「苦しみを笑いに変えた野球人生」をテーマに、懐かしいカープの話から現役選手の話、球界の裏話まで会場で、終始爆笑に次ぐ爆笑であつという間に時間が流れていきました。

その後、各テーブルを回って記念写真を撮って頂き、また笑い声が止まらない時間が流れました。

最後は佐伯副会長の閉会挨拶があり、終了しました。

総勢112名で70周年祝賀会を楽しくお祝いをさせて頂きました。



早川議長祝辞



高田元会長乾杯あいさつ



道城会長あいさつ



佐伯副会長あいさつ



平常心
2019.11.30



を行っています。また、通常学級に在籍する児童生徒の状況に応じ、特別な学習指導・支援等を行うよう、非常勤講師を県に要望し、今年度は小学校15校、中学校5校に配置しています。さらに発達障害傾向にある児童生徒に対して、個に応じた教育ができるよう市費で学校支援員を小学校29人、中学校16人配置しています。特別支援学級においては、児童生徒在籍数が1学級7～8人かつ3学年以上での編制となる場合、複数指導ができるよう非常勤講師を県に要望し、今年度は小学校26校、中学校3校に配置しています。また、児童生徒の実態を踏まえ、個に応じた教育ができるよう市費で介助員を幼稚園9人、小学校203人、中学校54人配置しています。さらに、小中一貫教育推進補助員を中学校3人配置し、校務補助員を102人、小中一貫教育学校図書館補助員を24人配置し、県費非常勤であるスクール・サポート・スタッフ12人の配置と合せて、教員が子どもに向き合う時間の確保、授業づくりに向けた準備ができるようにしています。

(要望)教職員の資質向上に向けた待遇改善 (回答) 学事課

教職員の資質向上に向けた待遇改善についてです。教職員の長時間労働削減について、これまで定時退校日や部活動休養日、夏季一斉閉庁日の設定や提出書類の精選、デジタル化、校務補助員の活用などによる事務的業務の負担軽減など様々な取組を進めてきました。今年度新たに部活動指導員が制度化され、各中学校の部活動方針に基づき51名が部活動指導を行い教員の負担軽減を図っています。今年度も引き続き取組を進めてまいります。さらに今年度から夏季休業期間を10日程度短縮します。日々の授業時間について、小中ともに6時間授業の日が必要となる週もありますが、全学年原則5時間と考えています。このことにより、児童生徒はゆとりをもって学ぶことができ、教職員は、放課後、授業準備や会議等の時間が確保できます。特に中学校及び義務教育学校においては、勤務時間内に部活動が実施できるようになります。長期休暇取得の奨励については、夏季休業期間における一斉閉庁日の設定に加え、年休の取得を奨励しています。地域行事や社会活動への参加に対する手当の支給は考えておりません。教職員が元気で生き生きと働くことの出来る環境づくりに努めてまいります。

(要望)出産休暇・病気休暇等代替教員配置の迅速化 (回答) 学事課

福山市では、近年産休・育休を取得する教員の増加が続いています。代替教員については、県及び近隣市町教育委員会、ハローワークと連携するとともに、退職教員にも声かけをしています。人員確保が非常に難しい状況です。そのため、臨探教員ではなく非常勤講師を配置したり、市教委の指導主事が授業を行ったりして、対応しています。今後、教員の負担が増えることがないよう、人員確保に努め、計画的かつ迅速な代員配置を行っていきます。

③教育環境の充実について

学校施設は、子どもたちにとって学びの場であるとともに、一日の大半を過ごす生活の場でもあるので、安全で快適な場所であればならないと考えます。施設・設備の老朽化、耐震性の課題等に対しては、計画的に改善を進めていただいているところですが、老朽化が進行している状況も鑑み、コンクリートの剥がれ、落下の危険がないか、また階段の滑り止めの破損・脱落等、再度点検を進めていただきますようお願いいたします。また、例年の異常気象による熱中症対策から、教室内の空調設備の設置については、現在導入済の学校もありますが、設置までにはしばらく時間を要する学校もあるように伺っております。つきましては、設置までの間、熱中症対策として随時の水分補給、団扇の使用許可など柔軟な対応をお願いします。併せて、体育館も夏休み短縮に伴う7月末の放課後の部活動、また災害時の避難場所として使用される機会などから体育館内の空調設備に対応をお願いします。また、給食を作る部屋は、空調機の設置がないと聞いています。夏休みの短縮もあり、夏場外気温が30度を超える中、煮炊きの作業を行うのは大変重労働となりますので、空調機の設置をお願いします。近年インフルエンザが大流行する傾向にあります。空調機の設置で教室が密閉状態となり、冬場は空気が更に乾燥され、ウイルスの温床になりかねません。部屋の湿度を50%以上にする事で、効果があると言われています。全教室に加湿器の設置を行うことで、インフルエンザの流行を低減

できることから、全教室に加湿器の設置をお願いします。トイレについても、近年ほとんどの家庭で洋式トイレを設置しており、和式トイレを使用したことのない子どもが多く、学校でのトイレ使用において不安だという声もあがっているのが現状です。トイレの洋式化は、昨年度で完了しましたが、洋式トイレがほとんどの家庭の実態から、洋式トイレの数が少ないように思われます。男女の入口が同じなどの課題も含めて、引き続き対応をよろしく願います。また、中学校の給食導入にあたり、元々給食設備がなかったことなどから、重たい給食を1階から4階まで持って上がる状況に対し、生徒の間でも不安の声が出ています。子どもたちを取り巻くこのような教育環境を充実させていただくためにも、整備・改修等を実施していただきますようお願いいたします。

- ① 老朽化の再点検
- ② 教室・体育館・給食室への空調設備の設置と整備期間中の給水などの柔軟な対応
- ③ 教室への加湿器の設置
- ④ 洋式のトイレの拡充及び男女の入り口に仕切りのないトイレの整備。
- ⑤ 中学校給食の適切な運用・取組の加速化

(要望)老朽化の再点検 (回答) 施設課

学校施設の点検については、建築基準法に基づく有資格者による3年ごとの点検及び学校による毎年の自主点検の中で、窓や外壁など建物の外部の点検、床・階段や天井など建物の内部の点検を行っています。加えて、日々の使用における故障や気付きを学校と教育委員会で共有しております。こうした点検結果等に基づき、緊急対応が必要なものについては速やかに修繕等を行い、その他については、優先順位をつける中で計画的に修繕等を行うなどの対応を行っているところであります。今後につきましても、学校施設における安全性を確保するための点検及び修繕等の対応を行ってまいります。

(要望)教室・体育館・給食室への空調設備の設置と整備期間中の給水などの柔軟な対応 (回答) 施設課・学校保健課

本市では、現在、全ての小中学校の普通教室と一部の特別教室への空調設備の整備を行っているところで、今年度はは完了の見込みです。他の特別教室や屋内運動場については、学習内容等を工夫することにより授業展開が可能となるため、現時点では、普通教室と使用頻度の高い特別教室を最優先とし整備を進めております。給食室では、加熱調理により室内温度が上昇することから、温度測定を行い、一定基準を超える所にはスボットクーラーを設置し、給食技術員の作業負担軽減に努めています。また、首巻保冷剤の着用や、水分・塩分の適宜補給など、熱中症の予防に努めております。学校生活においては、熱中症の予防対策として、水分・塩分の適宜補給や運動中の休憩、暑さ指数の予測値が31度以上を超えるなど状況に応じて授業や行事内容を変更するなど柔軟な対応を行っています。

(要望)教室への加湿器の設置 (回答) 学校保健課

冬季の教室内の空気の乾燥対策としては、水を入れたバケツ等を教室内の隅に設置したり、濡れた布巾等をかけたりする等、加湿対策を講じるよう各学校へ周知しております。なお、室内の環境対策として、必要に応じて換気も行っており、これらは、学校環境衛生基準に基づき対応しております。また、インフルエンザ予防としては、手洗いや咳エチケットの励行について指導しております。

(要望)洋式のトイレの拡充及び男女の入り口に仕切りのないトイレの整備 (回答) 施設課

学校トイレの洋式化につきましては、本市の基準に基づき整備を行ってきたところであり、2018年度(平成30年度)で完了しております。また、男女の入口に仕切りのないトイレにつきましては、高学年が使用するトイレから、優先的に整備してきたところであります。低学年が使用するトイレにつきましては、施設の状況や学校と協議を行う中で、検討してまいりたいと考えております。

(要望)中学校給食の適切な運用・取組の加速化 (回答) 学校保健課

中学校給食の実施にあたっては、給食運搬時の負担を軽減するために、軽量かつ安全性の高い樹脂製食器(PEN食器)を使用しています。また、運搬については、二人で協同して運ぶよう指導する等、生徒間の相互協力により、特段の課題なく給食を実施しています。また、配ぜんや残食回収時には、教職員による生徒への声かけや、顔が見える関係作りに努め、円滑な実施につながるよう、取り組んでいます。

④福山市PTA連合会に対する補助金について

福山市PTA連合会は、会員相互の資質向上と家庭での教育力向上、特に基本的生活習慣の徹底に努力しているところで、特に最近IoT、AI技術の革新により社会環境、教育環境変化が激しく、保護者が付いていけない状況が出てきていますが、その時代時代に求められる活動を展開して行きたいと考えます。少子、高齢化の影響を受け、会員数の減少により会費収入が減っているのが現状です。この状況は学校統廃合で示されているよう減少は今後も続く事で、会員

の皆様の望まれる充実した研修、積極的な活動の展開も、継続が難しくなっています。

また、2023年には日本PTA全国大会が広島県で計画されています。福山市は中核都市であり、1000人規模の分科会を行う予定で、エアコン設置等で福山市の財政も厳しいと存じますが、今後も充実した活動を行うために補助金の拡充をお願いします。

(要望)補助金の拡充 (回答) 学事課

本市における財政状況は、少子高齢化や持続可能な行政運営を行うため、大変厳しい状況であり、補助金の拡充は極めて困難な状況ではありますが、引き続き、子どもたちに確かな力をつけるために必要な予算の確保に努めてまいりたいと考えております。

福山市教育委員会との懇話会

福山市PTA連合会からの要望書を提出 意見交換を行いました



①子どもの安心・安全確保について

これまでも福山市教育委員会におかれましては、子どもたちの安心・安全確保に対して、各関係機関と連携して事故防止に努めて頂き感謝申し上げます。

近年、地球規模の異常気象などにより、自然災害が多発しております。西日本豪雨災害では、広島県内でも大きな被害を受け、多数の人命が失われるとともに、多くの児童・生徒が被災しました。教育委員会におかれましては、豪雨や台風などについてメール配信等で連絡を頂くなどの対応を頂いておりますが、今後も子どもたちの安全を一番に考えた取り組みの継続をお願いするところです。

全国的には不審者等により児童が悲惨な事件に巻き込まれる案件が発生しております。PTAといたしましては学校との連携はもとより、地域の方々の協力を仰ぎ、児童・生徒の安全確保について取り組んでおり、福山市行政、教育委員会の協力も頂き継続して取り組んでまいりたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

近年、急速に広がりを見せている課題としましては、SNSなどのコミュニティーサイトの拡大により、児童・生徒が事件や事故に巻き込まれる案件が増加しております。正しい関わり方を

知らないことで、悪ふざけや誹謗中傷、わいせつ事案等の新たな課題が浮上しており、いじめや不登校、暴行など問題を引き起こし深刻な事態に発展している場合もあり、PTAを含めて安全な利用法の研修や子どもたちが安心できる環境づくりの必要が増大しています。科学技術の進歩による社会の変容に対応し、時代の潮流に合わせた教育が必要と考えており、こうしたSNSにみられるネットワーク時代に適した教育の在り方が問われ始めていると考えます。

福山市教育委員会におかれましては、安心・安全に対する体制づくりの充実にご協力をお願いいたします。

- ① 通学路の安全確保の取り組み
- ② 不審者対策の取り組み状況
- ③ 大雨等警報発生時の対応
- ④ いじめ・不登校・暴力行為の現状及び対応
- ⑤ SNSなどのインターネットやコミュニティーサイトによる被害状況や対応

(要望)通学路の安全確保の取り組み (回答) 学校保健課

通学路の安全確保については、2014年度(平成26年度)に通学路の安全確保を組織的・継続的に進めるため、各関係機関・団体で構成する「福山市通学路安全推進会議」を設置し、この会議において、取組の基本方針となる「福山市通学路交通安全プログラム」を策定しました。以降、本プログラムに基づき、安全対策を実施しています。これは、学校及び保護者・地域により抽出された危険箇所について、教育委員会、学校、道路管理者、警察及び地域関係者が、合同点検を実施し、対策必要箇所への安全対策を講じるものです。また、合同点検以降、新たに危険箇所として対策が必要と認める場合は、随時の合同点検を実施し、危険箇所の改善に取り組んでおります。なお、2020年度(令和2年度)は、2年に1回の合同点検の実施年度に当たり、引き続き、通学路の安全確保に努めてまいります。

(要望)不審者対策の取り組み状況 (回答) 学びづくり課

学校では、「不審な人についていかない」等の不審者対策を、学校だよりでの情報発信や、警察署員を招へいしての防犯教室の開催等により、日常的・計画的に児童生徒や保護者に啓発しています。教育委員会では、子どもたちの安心・安全のために、不審者情報などへの対応として、メール配信を利用した情報共有に取り組んでおります。教育委員会に寄せられた、子どもへの声かけ、つきまといなどの不審者情報を、学校関係者が極力早く共有し、子どもの安全確保や地域防犯を図るため、教職員、保護者、スクールサポートボランティアなど、より多くの登録を呼びかけており、その登録者数は、今年度12月現在、約32,000人です。

引き続き、安全教育はもとより、通学路やその周辺における不審者情報などに係るメール配信による情報共有に取り組み、子どもたちが日々、安心・安全に過ごすことができるよう努めてまいります。

(要望)大雨等警報発生時の対応 (回答) 学事課

大雨等の警報発生時の対応についてです。児童生徒の安全確保を第一に考え、的確な判断と迅速な対応が必要であると考えています。

福山市全域に甚大な被害が発生することが事前に予想される場合は、幼稚園・小中学校長と連携の上、市内幼稚園、小・中・義務教育学校一斉の同一対応を教育委員会が決定する場合もありますが、各地域における状況は様々であり、警報の種類や地域の状況、被害状況に応じて近隣校(校区)とも連携し各幼稚園・小・中学校長が個別に判断し対応しています。警報発生時の家庭への連絡について、メール配信システムを利用している学校は117校(幼稚園10園、小学校74校、中学校32校、義務教育学校1校)です。これらの学校で本システムに登録していない家庭については、電話連絡を行っています。電話連絡のみによる学校は3校(小学校2校、中学校1校)です。その他福山中・高等学校は家庭に「警報等の対応について」のマニュアルを配付し、学校のホームページで周知しています。

(要望)いじめ・不登校・暴力行為の現状及び対応 (回答) 学びづくり課

いじめ、暴力行為について、各校では、子どもたちの日常生活の様子や状況を、家庭・地域と日頃から十分に連携し、子どもたちの異変や問題行動に対していち早く気づき、子どもたちに寄り添った対応をするよう努めています。取組の結果、すぐに解決が難しい事案については、教育委員会やこども家庭センターなどの関係機関と情報を共有して問題の解決に取り組んでいます。長期欠席・不登校については、2小6中学校にきりりルーム(校内フリースクール。専任の担任を置き、一人ひとりに応じた学習を行う。)を設置しています。また、適応指導教室(中央・東部)を福山市フリースクールかがやきと改称し、学校以外で選択できる居場所の1つとして設置しています。さらに、2022年(令和4年)4月には、広瀬地区に特認校を開設するなど、全市的な教育環境の整備・充実を図っていきます。

今後も、全ての学校において、不登校児童生徒への個別の取組とともに、児童生徒自らが「考える、選ぶ、決める」ことを大切にしながら、全ての教室を全ての子どもたちにとって、「主体的に学べる場」となるよう取り組んでまいります。

(要望)SNSなどのインターネットやコミュニティーサイトによる被害状況や対応 (回答) 学びづくり課

情報化社会を生きる児童生徒には、情報モラルの必要性や情報に対する責任、望ましい情報化社会の創造に参画しようとする態度を発達段階に応じて身に付けていくことが必要であると考えています。各学校では、社会科で、「情報化社会で問題化している犯罪」技術・家庭科で、「情報を安全に利用するための考え方」道徳科で、「相手の気持ちを考えないメールの使い方」などを教育課程に位置付け、年間を通じて計画的に、誰もが安心して使える情報ネットワークのルールやマナーについて学習しています。また、各校の生徒指導担当を対象とした研修において、SNSの実態やトラブルの内容を交流し解決法を検討・協議しております。その他、中学校入学説明会等で、スマートフォン等の適正な利用について啓発活動を行ったり、トラブル等の事案をサポートセンターに相談できる体制を整えたりしております。引き続き、児童生徒や保護者等から事案を把握した際には、被害が拡大しないように対応するとともに、児童生徒からの事実確認、加害側への指導、関係機関との連携等、事案の解決と再発防止に向けて取り組んでまいります。

②教職員の資質向上と適正配置について

学校は子ども達が社会の中で幸せな人生を送っていく力を養うためにあると考えます。社会はどんどん変化していき、多様化・複雑化しています。そして子どもたち自身も、また置かれている環境も多様化しています。このような状況に対応するためにも、子ども達ひとりひとりに合わせた教育が必要かと思われまます。そのためにも、より一層の教職員の増員と個々の教職員の資質向上が望まれます。教職員の増員は子ども達一人ひとりに対してよりきめ細やかな対応のためであり、それは学力向上だけでなく、いじめや生徒・児童間のトラブルを未然に防ぐことにもつながります。また教職員を増員することにより、個々の教職員の時間的・精神的余裕が生まれ、結果的に教育の質向上にもつながると考えられます。また、小学校における英語教育の必修化など、教職員に求められる能力はますます多岐にわたり、多様化する社会に対応するためにも、さらなる教職員の資質向上が求められています。加えて学校は社会や地域とも協力して行く必要があり、教職員の地域行事や社会的活動、また特に中学校では部活動への参加も求

められ、それが場合によっては教職員の負担になっている面もあるかと思ひます。夏休みの短縮が発表されましたが、教員の方にとっては、従来より10日子ども達に教える時間が長くなり、精神的負担増になります。そこでお盆休みを挟んで、10日連続休暇(休暇奨励日)を設けて、先生方の精神的、肉体的負担軽減策の検討をお願いします。こういった状況を改善するために何よりも教職員の待遇改善が必要ではないかと思われまます。具体的には地域行事や社会活動への参加に対する手当の支給、長時間労働削減の推進、見分を広めるためにも長期休暇の取得を奨励するなどが考えられます。教職員が元気で生き生きと働いている姿こそ、子ども達に希望を与えるのではないかと考えまます。

- ① 個々の子どもに応じたきめ細やかな指導ができるための教職員の増員
- ② 教職員の資質向上のための待遇改善
- ③ 産休休暇・病気休暇等代替教員配置の迅速化

(要望)個々の子どもに応じたきめ細やかな指導ができるための教職員の増員 (回答) 学事課

現在、通常学級においては、小学校1、2年生での35人学級の実施に加えて、中学校1年生への少人数プロジェクト事業や指導方法工夫改善事業による少人数指導

2/15

福P協議会

令和2年2月15日(土)、今年度第3回目となる福山地区PTA連絡協議会(福P協)の協議が福山市三之丸町の「リベルタ」にて開催されました。

福P協とは、広島県P連の東部2ブロックとして福山市P連、府中市P連、神石郡P連の3団体で構成されています。

今回の協議は、福山12名、府中5名、神石9名の計26名での会議となりました。まずは、今回の幹事である福山市P連の道城会長の挨拶の後、各都市P連会長の挨拶と参加者紹介があり協議がスタートしました。

会議内容は

1、確認事項として

①令和3年度 広島県P大会実践発表を府中市P連。

②令和4年度 日P国際交流・国内研修事業を府中市P連。

③令和6年度 広島県P大会実践発表を福山市P連。

がそれぞれ担当する事が共有されました。

2、協議事項として

・広島県P理事選出について(東部2ブロックから)

理事3名を各都市P連より各1名、母親代表を福山市P連より1名の選出となりました。尚、県P幹事選出は令和2年度は東部1ブロックからの選出となる事も併せて確認しました。

3、各都市P連の近況報告とアピールタイム
・神石郡P連からは、今年で最後となる顧問から、PTAはもうろん子ども達の為にありますが、一方でまずは私たちがどれだけ楽しく活動でき

るか?そしてPTAに直接関わらなくなっても子ども達への接し方が変わる訳では無いので、立場が変わろうとも地域の子ども達にしっかりと関わっていきましょう。との素敵な言葉を頂きました。

・府中市P連からは、府中明郷学園が「コミュニティスクール」を導入し6年間の地域、学校との連携や協働により、子ども達の成長を支える活動が模範とされ、地域学校活動推進に関わる「文部科学大臣表彰」を受賞したとの報告がありました。その後他地区からの視察も多数依頼されているとの事でした。

・福山市P連からは、福山市教委との懇話会で今後のPTAと市教委との様々な連携を図っていく為の意見交換の内容が共有されました。

またその他、各都市P連から持ち寄られた、郡市P連だよりや各単位PTAだよりが配布され、各々が真剣に目を通しながら、神石郡P連で10年間尽力された赤木様の乾杯のご発声のもと懇親会へと移り、各参加者が都市の分け隔てなく親睦、情報交換を行いながら福山市P連の浅田副会長のギター持込みの余興もあり、とても楽しく有意義な会になりました。



2020年2月現在の内容です。

福山市PTA連合会の小学生・中学生総合保障制度

締切延長

4月19日(日)

消印有効

大切なお子さまを取り巻くさまざまな危険に備えます。
一度の加入手続きで中学校卒業まで補償が更新されます。

- | | | |
|----------------|--------------|-----------------------------|
| 1. 個人賠償責任補償 | 4. 熱中症補償 | 7. 育児費用補償 |
| 2. ケガの医療費実費補償 | 5. 細菌性食中毒補償 | 8. 病気死亡見舞金 |
| 3. ケガの補償(傷害補償) | 6. 学校管理下座車補償 | 9. 病気補償 疾病入院医療保険金 疾病手術医療保険金 |

特長

- ☆高額化しているお子様の自転車事故による賠償責任を重視した市P連だけの保障プラン!
- ☆団体契約だから掛金が割安
- ☆ご家族の賠償事故にも対応! 示談交渉サービス付き(国内事故のみ)
- ☆飼い犬の咬みつきによる賠償事故にも対応。
- ☆ケガによる入院・通院で10万円以下のご請求は電話で即対応!(国外事故もOK)
- ☆健康相談・メンタルケアカウンセリング他、様々な加入者サービスがあります。

2020年度 自転車による事故が問題になっている今…
自転車総合保険セットプランにてご案内しております。

自転車利用者が歩行者等にケガを負わせる交通事故が後を絶ちません。

こんな高額判決事例も!
「わざとじゃない」では済まされないことも!



もし、自転車事故の加害者になってしまったら…!?

事例1
坂道を下ってきた小学5年の少年の自転車が歩行者中の女性(62歳)と衝突。女性は頭がい骨骨折等の傷害を負い、意識不明となった。
約9,520万円 平成25年 神戸地裁

事例2
男子高校生が自転車で道道を斜めに横断し、対向車線を自転車で直進してきた男性会社員(24歳)と衝突。男性会社員に重大な障害(言語機能の喪失等)が残った。
約9,270万円 平成20年 東京地裁

事例3
男子高校生が自転車で歩道から交差点に進入した際、自転車に乗った女性(60歳)と衝突。女性は頭がい骨骨折で9日後に死亡した。
約3,140万円 平成14年 さいたま地裁

※補償の有無、金額はプラン毎に異なります。この広告は制度の概要です。詳しくは各学校で配布されるパンフレットをご覧ください。取扱代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせください。

※この保障制度のパンフレットは、毎年ご進級・新入学時に学校を通じて構成員全員に配布されます。

制度引受保険会社 **AIG損害保険株式会社** 中国・四国地域事業本部(広島支店)

〒730-0011 広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル TEL 082 (535) 6010 受付時間:午前9:00~午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

取扱代理店・扱者 **NOSCOインシュアランスサービス(株)** 〒730-0013 広島市中区八丁堀14-10 新八丁堀ビル5F TEL 082 (228) 1222 受付時間:午前9:30~午後5:30(土・日・祝日・年末年始を除く)
[承認番号 S-200347 (2021-02)]

2020年度 自転車総合保険・自転車総合補償
福山市PTA連合会の小学生・中学生総合保障制度
ご加入のおすすめ

1年分の掛金
3,290円
(1人1名につき27万円)
お子さまが加害者に
個人賠償責任補償
示談交渉サービス付き
(ご家族全員補償)
お子さまがケガに
24時間補償

自転車事故等による損害賠償責任も
国内無制限で補償
小学5年男子児童の自転車衝突で他者に約9,520万円の賠償金(神戸地裁判決)

保険金もオンラインや電話で簡単手続き!
簡単!ご加入手続き

保険料(1人1名)	補償(1人1名)	補償(1人1名)
3,290円(0歳)	200万円(個人賠償責任補償)	200万円(個人賠償責任補償)
3,290円(1歳)	200万円(個人賠償責任補償)	200万円(個人賠償責任補償)
3,290円(2歳)	200万円(個人賠償責任補償)	200万円(個人賠償責任補償)



第71回日本PTA全国研究大会 広島大会のご案内

2023年(令和5年)8月の開催を予定しています。全国から約7千人の会員さんが集まる大規模な大会となります。県内からも千人以上の会員と交流できる楽しい大会となります。皆様の参加をお待ちしております。